資料１－５

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院実績報告書

病院名：　　愛知医科大学病院

愛知県アレルギー疾患医療拠点病院設置要綱に基づき、下記のとおり報告します。（令和５　年５月１日現在）

１．病院の機能及び医師等の配置

項　　目	該当
一般社団法人日本アレルギー学会の認定教育施設であること	○
内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科領域の診療科が全て設置され、その医師が常勤していること、または、愛知県における小児アレルギー疾患医療の中心的な役割を担っていること	○
アレルギー疾患に関する専門的な知識と技能を有する薬剤師、看護師、管理栄養士等が配置されていること	○
〔配置状況〕エピペンの使用に当たって，講習会を開催し，受講者が取扱いできるように教育している。 患者や看護師に，吸入指導教育を行っている薬剤師が複数名所属している。	

医師の配置	アレルギー学会会員数	うち専門医数数	うち指導医数
内科	10	4	2
小児科	5（内非常勤 3）	3（内非常勤 2）	1
皮膚科	1	0	0
眼科			
耳鼻いんこう科	0	0	0

２．アレルギー疾患に関する「情報提供」「人材育成」「学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、指導」の取組

		実　績（令和４年度）			今　後　の　予　定（令和５年度）		
		診療科	対象者	内容	診療科	対象者	内容
情報提供	講演会等	内科	医師、薬剤師	豊田加茂医師会共催　豊田加茂呼吸器疾患セミナー講演（8/24 伊藤理） 岐阜県西濃医師会共催　西濃 asthma symposium 講演（R5/3/27 伊藤理）			
		皮膚科	医師	外用剤エキスパート講演会（2022.6.22）大嶋講演 栃木アレルギー疾患懇話会（2022.11.17）大嶋講演			
		小児科	医師	アレルギー性鼻炎に伴う食物アレルギー　花粉－食物アレルギー症候群の診療の最前線（東尾張アレルギー疾患連携セミナー2022.3.4） RINVOQ small meeting ～小児アトピー性皮膚炎を考える（2022.9.3）			
		小児科	医師、栄養士、養護教諭	第 12 回食物アレルギーセミナー・あいち 食物アレルギーの診断と経口負荷試験～ガイドラインに基づく医療機関の役割分担と連携について～（2022.6.4）			
	他	内科	研究者、医師	第 66 回日本リウマチ学会総会・学術集会（4/26）教育研修講演（伊藤理）	内科	医療従事者	第 45 回日本呼吸療法医学会学術集会（8/6）ランチョンセミナー講演（伊藤理）
人材育成	研修会等	内科	医療従事者	愛知県アレルギー研修会（10/2 藤田医科大学）講師（伊藤理）	内科	医療従事者	愛知県アレルギー研修会講師（伊藤理）
		内科	医療従事者	日本呼吸ケア・リハビリテーション学会東海地方会会長（4/10 名古屋・伊藤理）			
		内科	医師	日本呼吸器学会東海地方会会長（5/21～22 名古屋・伊藤理）			

他						
助 言 指 導						

３．アレルギー疾患における「診療」「研究」の取組

	実　　　績（令和４年度）	今　後　の　予　定（令和５年度）
診療	内科：喘息、好酸球性疾患、アレルギー性疾患、血管炎症候群、薬剤性肺炎の診療 耳鼻科：アレルギー性鼻炎、アレルギー性真菌性副鼻腔炎、好酸球性副鼻腔炎、好酸球性中耳炎などの疾患に対する診断、治療を一般診療の中で行っている。 皮膚科：アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、蕁麻疹などのアレルギー性皮膚科疾患の診断、治療 小児科：小児気管支喘息，アトピー性皮膚炎，食物アレルギー，アレルギー性鼻炎・結膜炎，慢性蕁麻疹など小児における全てのアレルギー疾患に対する適切な診断と治療。	内科：喘息、好酸球性疾患、アレルギー性疾患、血管炎症候群、薬剤性肺炎の診療 耳鼻科：左記に同じ。 皮膚科：左記に同じ。 小児科：左記に同じ。
研究	内科：気管支喘息およびリウマチ肺の臨床研究 小児科： ・小児気管支喘息における生物学的製剤の臨床的有効性の検討。 ・難治性アトピー性皮膚炎の背景因子の検討と治療法の確立。 ・食物アレルギーにおける免疫療法の検討。 ・ナッツアレルギーの実態調査。 ・川崎病における免疫グロブリン不応マーカーの検討。	内科：左記に同じ。 小児科：左記に同じ。

４．アレルギー疾患に関する特記事項（独自の取り組み）